

日々の田高（防災講話と避難訓練）

9月2日（月）、2学期の始業式を行う前に、防災講話と避難訓練を行いました。

防災講話は、防災教育普及協会の宮崎 賢哉様から防災について講話がありました。講話では、いくつかの大切なキーワードを私たちに伝えてくださいました。

例えば、「災害は平等にやってくるが、被災は平等ではない」。被災が平等ではないのは、それぞれの人の備え方が異なるからであり、「その時、何ができるか」は「それまで何をしてきたか」にかかっていること。また、被災後に必要なこととして、「トイレ」「水分・食事」「休憩（睡眠）」があげられ、特に自宅でトイレをすますための、携帯トイレの必要性や、食事については、「野菜ジュース」を備蓄すると栄養バランスの面から良いというお話など、具体的な内容と、高校生が自分たちで考えるヒントなどをいただきました。

講話の後に、避難訓練を行いました。訓練版の緊急地震速報を活用し、机の下にもぐるシェイクアウト訓練などを行いました。避難訓練の様子と防災講話を聞いている生徒の様子をご覧ください。

「その時、何ができるか」は「それまで何をしてきたか」にかかっているという言葉については、災害対応に限らず、部活動や勉強についても当てはまります。仕込みというか準備があらゆる場面で大切であることを再認識しました。

